

文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業 昭和音楽大学舞台芸術センター オペラ研究所
《オペラ劇場における人材育成システムに関する研究》第1回研究会

オペラ・フェスティバルを活用した 観光・地域振興政策

～オーストリア〈ブレゲンツ音楽祭〉を例に

夏のシーズンを迎えると、日本に限らず世界各地でオペラ・フェスティバルや音楽祭が開催されます。こうしたフェスティバルは、美しい自然の中でオペラや音楽を鑑賞することに主眼をおいていますが、短期間で多くの観客を開催地へと集めることにより大きな経済効果をもたらすことから、近年、周辺地域を活性化させる観光・地域振興政策の面からも注目を集めるようになりました

オーストリアで毎夏行われている「ブレゲンツ音楽祭」は、このようなオペラ・フェスティバルと観光産業とが巧みに融合した成功例のひとつです。同音楽祭は、ボーデン湖畔に位置する、人口 2 万 8000

人の都市ブレゲンツにおいて毎夏 7 月から 8 月にかけて行われるオペラ・フェスティバルで、ボーデン湖上に設営された舞台でのオペラ上演が世界的に高い評価を得ています。フェスティバル期間1ヶ月の来訪者は、人口の約 7 倍の 20 万人にものぼり、その観光収入による経済的効果だけでなく、インフラ整備、雇用対策などを含めた地域振興政策の点からも成果を収めている音楽祭です。

わが国では、観光・地域振興政策としてのオペラ・フェスティバル開催に関心が集まっているものの、実現にあたってクリアすべき財政的・人的な課題は少なくありません。そこで同音楽祭オペラ監督として運営に携わった経験をもつクライニッツ氏をお招きして、その課題解決のために何が必要かお話しいただきます。

[ドイツ語逐次通訳付／蔵原順子]



ボーデン湖上の舞台
ヴェルディ《仮面舞踏会》(1999-2000)

日時 2009年7月10日(金) 13:30～15:30

会場 霞が関ナレッジスクエア 東京都千代田区霞が関 3-2-1 霞が関コモンゲート内

講師 エヴァ・クライニッツ ベルギー王立モネ劇場芸術企画・制作監督／前ブレゲンツ音楽祭オペラ監督

定員 50名 [参加無料]

お申込み Fax・E-MAIL でお申し込みのうえ、当日そのままご来場ください [締切 7月6日(月)]



エヴァ・クライニッツ Eva Kleinitz

ドイツ、ハノーファー近郊ランゲンハーゲンに生まれる。ザールラント大学で音楽学、発達心理学、イタリア文学を修め、芸術学修士号を取得。アシスタント・プロデューサー、アシスタント・ディレクターとしての活動を経て、1998年9月から、ブレゲンツ音楽祭の芸術部門に勤務。アルフレート・ヴォプマンの個人アシスタントも務める。2000年1月、ブレゲンツ音楽祭の芸術運営部門長に就任。2003年デイヴィット・バウントニーのもとオペラ監督を務める。2006年11月、ベルギー王立モネ劇場の芸術企画・制作監督、および新芸術監督ペーター・デ・カルヴェの補佐に就任。本学では文部科学省オープン・リサーチ・センター整備事業シンポジウム(2006年10月1日)に講師として招聘。

主催・お申し込み・お問い合わせ

昭和音楽大学舞台芸術センター オペラ研究所

TEL 044-953-9858 FAX 044-953-6652 E-MAIL opera@tosei-showa-music.ac.jp